

島内供給野菜の作型開発
～小笠原におけるサトイモの系統特性の把握～
佐藤澄仁・河野 章・小野 剛・沼尻勝人*
*農総研商品開発科

【要 約】小笠原での島内供給野菜として、サトイモの系統‘DS, WH’は総芋重が多く、秀品率が高いことから有望な系統と考えられる。

【目 的】

小笠原では年間8千万円の移入野菜がある。一方、島内宿泊施設や飲食店など需要者への聞き取り調査によれば、島内自給野菜の供給を望む声が高い。島内供給野菜は、基幹作物の端境期や消費量の多いもの、比較的労力の少ない野菜の作型開発を行う必要がある。そこで、労力が比較的少なくてすむサトイモの系統特性を把握する。

【方 法】

農総研が保有している系統名‘DDK2’外20系統を供試し、2005年4月20日に条間80cm, 50cmに種芋を植え付け、追肥、土寄せは7月4日に行った。基肥は成分量で窒素：リン酸：カリ＝1.5：1.5：1.5kg/aとし、追肥は0.8：0.8：0.8kg/aとした。収穫は10月20日に行った。区制は1区20株とした。

【成果の概要】

- 1) 栽培期間中の平均気温は平年並みで、降水量は4・5・6月高めに推移した。
- 2) 総芋重は‘NDG, WH, BD, DBG2, BUN’の系統で多く、‘HASU, YAG, YAR1, DES’で少なかった。
- 3) 親芋重率は‘HASU, YAG, YAR1’で高く、‘NDG, BUN, FW1’で低かった。
- 4) 子芋数は‘DS, DHY, NDG’で多く、‘HASU’で少なかった。
- 5) 孫芋数は‘DBG2, FW1, NDG’で多く、‘HASU’ではみられなかった。
- 6) ひ孫芋数は‘DDK2, NDG’で多く、‘DES, HASU’ではみられなかった。
- 7) 子芋重は‘WH, HKY, NDG, DS’で多く、‘HASU, YAG, YAR1’で少なかった。
- 8) 孫芋重は‘NDG’が最も多く、‘HASU, YAG, YAR1, YAR2’で少なかった。
- 9) ひ孫芋重は‘KN1, DBG2’で多く、‘DES, HASU, YAR1, YAG, WH, YWK’で少なかった。
- 10) 秀品率は‘WH, DS, HKY’の順で高く、‘FW1, DBG2, BUN, DDK2’で低かった。
- 11) これらのことから、‘DS, WH’は総芋重が多く、秀品率も高いことから小笠原での島内供給野菜として有望な系統と考えられる。

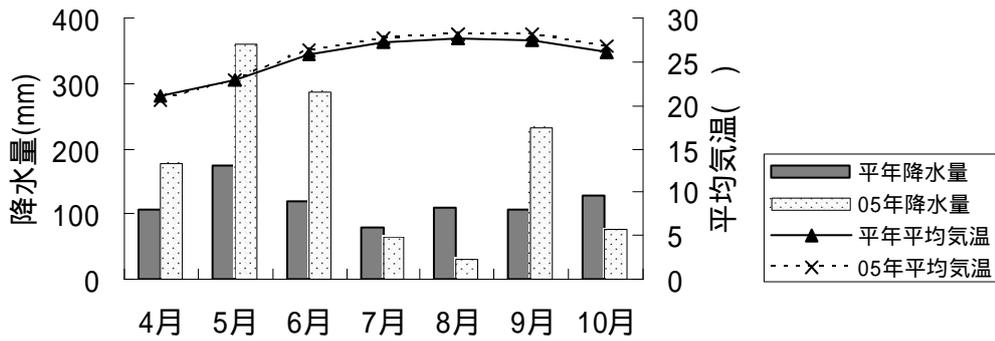


図1 平均気温と降水量の推移

* : 気象庁父島測候所調べ

表1 導入サトイモ系統の小笠原における評価

系統名	総芋重 (g)	親芋重率 (%)	子芋 (個)	孫芋 (個)	ひ孫芋 (個)	子芋 (g)	孫芋 (g)	ひ孫芋 (g)	秀品率 ^b (%)	評価 ^c
DDK 2	3025	13.6	18	48	8	750	1745	120	43.2	
DKO	2655	18.8	22	38	1	850	1250	55	49.2	
DH	2810	18.5	24	37	2	880	1350	60	49.2	
DHY	2890	15.9	27	41	4	890	1460	80	50.2	
DS	2935	16.4	28	42	6	1000	1380	75	73.7	
DES	1900	17.9	17	33		600	1860		82	
DBG 1	2460	17.9	21	36	1	770	1200	50	48.3	
DBG 2	3140	15.3	23	66	5	850	1610	200	31.9	
NDG	4030	12.4	26	64	8	1100	2250	180	61.2	
KN 1	2870	15.9	17	45	6	750	1460	205	63.2	
YWK	2280	23.4	18	42	1	735	1390	10	60.7	
HKY	2480	22.1	23	33	1	1150	1150	20	66.7	
FW 1	3010	14	23	65	6	810	1690	90	14.3	
BUN	3135	13.2	20	48	5	770	1820	130	42.5	
BW	3035	19.1	23	38	3	1080	1310	70	64.1	
BD	3315	18.7	23	45	3	1015	1620	60	63.4	
WH	3815	18.6	25	45	1	1300	1800	10	90.1	
HASU	345	87	4	-	-	20	-	-	-	
YAG	1250	60.8	24	33	1	280	205	10	-	
YAR 1	1375	58.9	33	30		360	310		-	
YAR 2	2215	20.5	23	25	3	990	710	60	60.8	

a) 定植 : 2005.4.20, 追肥倍土 : 7.4, 収穫 : 10.20

b) 秀品率 : M 級以上 (40g) の割合

c) 評価 : は収量が多く、秀品率が高いもの
 は収量が多く、秀品率がやや劣るもの